

令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重

学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	18.7%	68.7%	11.3%	1.3%	0.0%
児童	68.7%	27.5%	2.9%	0.0%	0.0%
教職員	43.4%	52.8%	3.8%	0.0%	0.0%

2 友達への思いやり

子どもは、友だちとなかよくしていると思いますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	50.0%	46.2%	3.4%	0.4%	0.0%
児童	74.6%	23.1%	1.5%	0.8%	0.0%
教職員	28.3%	67.9%	3.8%	0.0%	0.0%

3 道徳・心の教育の充実

学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	22.6%	67.0%	9.1%	1.3%	0.0%
児童	0.0%	38.5%	59.6%	1.9%	0.0%
教職員	0.0%	38.5%	59.6%	1.9%	0.0%

【学校から】どの項目も肯定的な回答が9割以上を占めている。特に「2 友だちへの思いやり」の児童の「そう思う」は+8.3ポイントも向上している。学校の一人一人の児童を大切にしたい指導や対応が、児童の自尊感情を高め、それが友達も大切にしようという考えにつながってきていると考える。児童一人一人を大切に、居場所のある学級づくりを根底に置き、すべての教育活動を行っていききたい。また道徳教育の充実に向け、現在行っている「ローテーション道徳」で深い教材研究と指導法の工夫を行い、「考え、議論する道徳」の授業づくりを充実させていく。

②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度

子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	32.7%	54.8%	11.2%	1.3%	0.0%
児童	53.9%	38.8%	6.5%	0.8%	0.0%
教職員	21.6%	76.5%	2.0%	0.0%	0.0%

5 授業力向上

先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	30.9%	60.4%	7.6%	1.1%	0.0%
児童	53.5%	38.8%	6.5%	1.3%	0.0%
教職員	52.8%	43.4%	3.8%	0.0%	0.0%

6 ICT活用

先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	24.5%	63.4%	11.0%	1.1%	0.0%
児童	68.1%	29.4%	2.5%	0.0%	0.0%
教職員	53.8%	44.2%	1.9%	0.0%	0.0%

【学校から】肯定的な回答が高い割合を示している。特に「5 授業力向上」の児童の「そう思う」の回答は+4.8ポイントとなっている。本校がこれまで取り組んできた生徒指導の三機能をベースに置き、本年度研究に取り組んだ「問い・対話・振り返り」を大切にしたい授業づくりの成果の表れの一つであろう。また「6 ICT活用」も肯定的な回答が多いが、GIGAスクール構想で一人一台のタブレットが導入され環境が整い、その活用が試されている。しっかりとした研修・研究を積み有効活用していかなければならない。

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をして適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	27.6%	53.8%	16.5%	2.2%	0.0%
児童	46.1%	40.9%	9.9%	3.1%	0.0%
教職員	1.9%	67.9%	30.2%	0.0%	0.0%

【学校から】本年度はコロナ禍により、休校明けからのスタートとなり、生活リズムや食生活の乱れ、運動不足から肥満傾向児童が増加した。また水泳の授業は中止、球技系の体育の授業もほほできないなど運動が制限されたこともあり、全体的に回答は低下している。そのため学校保健委員会で「運動」をテーマにし各クラスで取り組むことを決め、体力向上を目指した。継続していきたい。

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解

先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようとしていますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	34.8%	56.8%	6.7%	1.6%	0.0%
児童	58.0%	36.1%	4.6%	1.3%	0.0%
教職員	57.7%	42.3%	0.0%	0.0%	0.0%

9 いじめや問題への対応

学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	23.7%	61.4%	12.4%	2.6%	0.0%
児童	70.6%	24.8%	1.3%	0.0%	0.0%
教職員	74.5%	25.5%	0.0%	0.0%	0.0%

②特別支援教育の推進

10 学校の支援体制

学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	23.5%	67.7%	6.7%	0.0%	0.0%
児童	0.0%	50.9%	43.4%	5.7%	0.0%
教職員	0.0%	50.9%	43.4%	5.7%	0.0%

【学校から】「8 児童生徒理解」「9 いじめや問題への対応」では否定的な回答が見られる。人権意識を高く持ち、いじめが起こりにくい集団をつくる「未然防止」、いじめのサインを見逃さない「早期発見、早期対応」を行うとともに、学校での取り組みを保護者にしっかりと伝え、保護者と連携して取り組みを進めていきたい。「10 特別支援教育の推進」では今後も保護者面談や学級懇談会等により、児童についての情報交換を密にしたり、複数での支援体制について発信するなどして、保護者の理解と信頼を深めていきたい。

①子どもたちの身近な安全対策の充実

11 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	28.6%	63.8%	6.1%	1.4%	0.0%
児童	77.1%	20.3%	1.9%	0.0%	0.0%
教職員	52.8%	45.3%	1.9%	0.6%	0.0%

②最適な学習環境の整備

12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

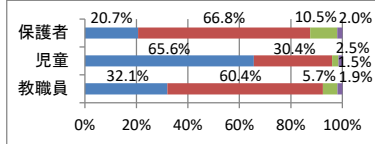
対象者	そう思う	どちらかといえば、そう思う	どちらかといえば、そう思わない	そう思わない	無回答
保護者	23.0%	61.7%	12.9%	0.0%	0.0%
児童	48.8%	40.3%	8.9%	0.0%	0.0%
教職員	34.0%	56.6%	9.4%	0.0%	0.0%

【学校から】校内においては、定期的な安全点検とともに教員が安全に関する意識を高く持ち、日常的な点検を行っていく。また児童への指導に関しては、落ち着いた安全な生活を送るよう繰り返し指導を行うとともに、児童自身が危険を予測し、自ら回避することができるような「主体的に行動する態度」を育成する安全教育を目指していく。

③家庭・地域社会との連携強化

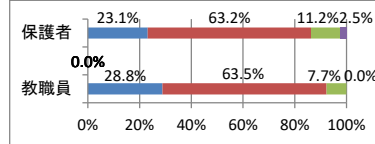
13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

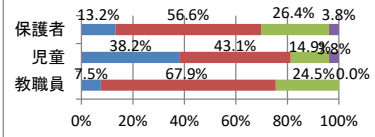


【学校から】本年度は、授業参観・学級懇談会、PTA総会など保護者が集まる機会がほとんどとれなかった。その分、教育方針や教育目標を伝える機会減少した。学校ホームページや安心・安全メールなどを活用していきたい。「14家庭や地域との連携強化」では保護者の肯定的な回答が増加した。PTA美化作業にほとんどの教職員が参加したことなどが影響しているのであろう。今後も積極的に行っていく。

④本校の教育

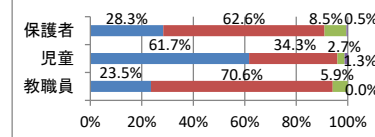
15 1かしく

子どもは、自分の考えを自分で発表し、答えにたどり着くまで粘り強く取り組むことができていると思いますか



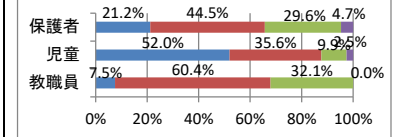
16 2なかよく

子どもは、友達となかよく過ごし、ほめたり励ましたりするような行動ができていると思いますか。



17 3たくましく

子どもは、自分から進んで運動をする習慣を身につけていると思いますか。



【学校から】「1かしく」では、昨年の質問に「進んで発表し」を加えた結果、児童の肯定的な回答が減少した。進んで発表できる学級の支持的風土、意欲を喚起する問いの工夫など研修を積み改善していきたい。「なかよく」では、多くの保護者・児童が肯定的な回答をしている。これは4～6年生で行ったhyper-QUの結果でも同様の結果が出ている。「託東タイム」や「たくトーク」などにより確実に人間関係力が身につけてきている。「たくましく」では三者とも否定的な回答が3割を超える。コロナ禍で運動の機会が制限されたこともあるが、家庭においてSNSや動画視聴、ゲームなどが習慣化していることも考えられる。これこそ学校・家庭・地域と連携して解決していきたい。

来年度の具体的な取り組みについて

- 賢（かしこく）＜進んで学び探求する子ども＞のために、生徒指導の三機能を生かした学級づくりの上での主体的・対話的で深い学びの視点を踏まえた授業改善を行う。その中で本校の取り組みの特徴である「託東タイム」、それを授業に活かした「たくトーク」を授業の中に取り入れ、対話（アウトプット）を増やしていく。今年度導入された一人一台のタブレットや電子黒板などのICT機器を積極的に活用しながら、児童が意欲的・主体的に学習に取り組むよう職員研修などを通して授業力を向上させていく。高学年では、今年度と同様、一部教科担任制を導入し、深い教材研究のもとでの質の高い授業を目指す。
- 睦（なかよく）＜なかよく助け合い励まし合う子ども＞のために、安心感を持ち素の自分をだせる学級・学校づくりを目指す。道徳の授業を中心に子どもの心を揺さぶったり、葛藤を生む「考え、議論する道徳」を行い、道徳的実践力の育成を目指す。また自尊感情や自己有用感を高めるために、友達とお互いの良さを認めあう活動を多く取り入れていく。いじめや子どもの人権を侵害するような行為に対しては毅然とした対応をとる。
- 剛（たくましく）＜たくましい心と健やかな体を持つ子ども＞のために、体力テストの結果を分析し課題を把握し、体育の授業で改善のための活動を取り入れる。また、体育の授業で子どもが多く活動するよう授業改善を行う。業間や昼休み時間外に出て活動するよう計画的に取り組む。けがや事故防止のために安全点検と安全教育の充実に努める。
- 授業参観や学級懇談会、教育相談、各種行事等において、保護者や地域の方との人材の交流を行い情報を共有する。学校行事や総合的な学習の時間などに積極的に地域に足を運び、地域のことを知ったり、地域の課題を解決する取り組みを行い、「地域とともにある学校」を目指す。

学校関係者評価

- 児童たちの学校での取り組みの発表を見て、いい取り組みが行われているし、発表の態度もとてもよかった。
- タブレットや電子黒板などのICT機器が多く活用されている授業が多かった。授業が変わってきているのを感じた。
- 新型コロナウイルスの影響で通常の教育活動ができず、先生方は苦勞されたであろう。